

活動報告

団 体 名	ピースボート災害支援センター
活 動 名	倉敷市被災住民の生活再建を目的とした災害 VC 運営と写真洗浄サポート事業
活動期間	2018/07/07～2019/06/19
活動の成果	7月9日から福岡・佐賀・岡山・愛媛・広島に先遣スタッフを派遣し、広範囲にわたる被害状況の調査活動を実施しました。JVOAD、震つな、JPF 事務局など連絡との支援調整を図り、支援場所に偏りが出ないように努めました。事前の研修事業で繋がっていた岡山県社協の担当者からの紹介や、倉敷市と倉敷市社会福祉協議会からの支援要請を受け、特に被害の範囲が広く甚大であった倉敷市への支援を決定しました。今回のボラサポにて助成を受けたのは、7月11日より立ち上がった倉敷市災害 VC のサテライト運営と写真洗浄プロジェクトのサポート業務です。 まず災害 VC の運営においては、発災直後より人手不足のなか、被災した家屋をボランティアがサポートし清掃することにより、自宅や生活再建のスピードを加速させる事が出来たと共に、住民にとって「県内外からの支援に支えられた」という精神的な支えとなる事ができたと思います。 また写真洗浄作業においては、活動を行うことにより、住民の思い出の品を再生させ、住民の精神的なサポートとなったと思います。その他にも以下に記載する効果もありました。
寄付者へのメッセージ	2018 年は災害が多い年となりました。我々の団体では毎年国内外で起こる自然災害に対して 5～6 箇所での支援活動を行ってきました。そのなかで平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）での倉敷の活動は、東日本大震災に次ぐ規模の支援となりました。発災から 1 年目の 2019 年 7 月に被災された小野さんからボランティアに関わった皆さんへとメッセージを頂きました。皆さまのご寄付によって活動が支えられたからこそその言葉だと思います。ありがとうございました。「自分らしく、今までの生活を 10 年は続けられるといいな。お金じゃない価値がここにはあります。人の笑顔と笑い声が集まるときっと家も喜んでいると思います。あの惨状で、その同じ場所で今は明日が見える。ボランティアの方々の温かい心と支え合いの人々の手がなくては実現しなかったことです。本当に感謝申し上げます。また会える日を信じて」

(活動のようす)

